



## 2Dと3D

さて最初は気楽な話から始めましょう。

ここにある2枚の絵はどちらも富士山を描いたものです。図1と図2，読者のみなさんはどちらの絵がお好きですか。

どちらも大変に有名な版画なので、ご存じの方も多いでしょう。葛飾北斎という江戸時代の浮世絵師が描いたものを版画にしています。図1は「赤富士」、図2は「波裏」と通称されている作品です。前者が平面なのに対して、後者はたいへん立体的な絵になっています。しかし、どちらが素晴らしいかと言われると甲乙つけがたいといえます。3Dの方が2Dより優れているとは限らないのですね。

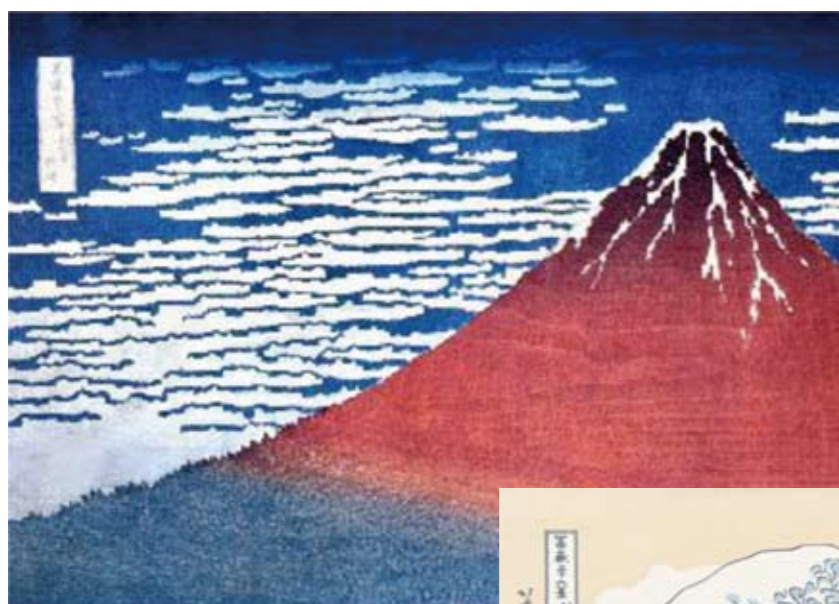


図1 2Dで描かれた富士山（葛飾北斎）



図2 3Dで描かれた富士山（葛飾北斎）



図3 2Dで描出した妊娠12週の胎児

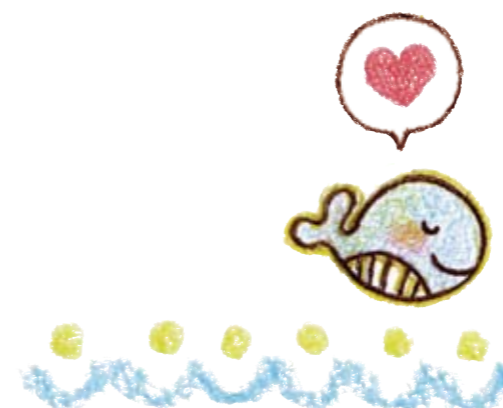


図4 3Dで描出した妊娠12週の胎児

これと同じことが超音波検査でもいえます。

図3と図4は同じ妊娠12週の胎児を2Dと3Dで描写したものです。3Dで写した胎児は2Dのそれより実際の胎児により近い姿をしているように思われるでしょう。

確かに顔の造作や手足の位置など、2Dでは見られない胎児の様子をより詳細に観察できます。では超音波検査はすべて3Dになればその方がいいのでしょうか。その答えを考えるときに、いったい超音波検査は何を見るための検査なのかという疑問が生じます。